

マザーボードにはシステムの構成内容や設定を指定するために設定ユーティリティを使用します。このシステムにはすでにマザーボードが搭載されていますので、製造元により適切な設定がなされているはずです。マザーボードを新しく装着したり、システムを再設定する場合や、設定ユーティリティを起動するように要求されたときは、新しい設定情報を入力してください。

このマザーボードは、システムのROM設定情報を含むAward BIOSチップを使用しています。このBIOSチップは、CPUとその他ボード上の構成部品とのインターフェースの役割を担っています。この章では設定プログラムに含まれる情報と、PCシステムの構成に合わせた設定方法を説明します。

システムBIOSに組み込まれた設定ユーティリティはCMOS RAMに保存されており、このユーティリティを使ってシステムの設定を変更します。システムの設定を変えたり、システムのバックアップバッテリーを取り替えたり、システムが設定エラーを検出した場合に、設定ユーティリティを起動するよう要求されます。コンピュータを起動した後のRAMテスト時にDeleteキーを押すと、このユーティリティを呼び出すことができます。コンピュータを起動した後、RAMテスト中にDeleteキーを押すと、このユーティリティを呼び出すことができます。Deleteキーを押すタイミングが少しでも遅れると、POST（自己診断テスト）がテストルーチンを続行して設定ユーティリティを起動することができなくなります。設定ユーティリティを呼び出すには、Ctrl, Alt, Deleteキーを同時に押すか、コンピュータケースのリセットボタンを押してシステムを再起動する必要があります。また、コンピュータの電源を一度切って、もう一度電源を投入して再起動することもできますが、先に紹介した2つの方法でシステムを再起動できなかった場合にのみ実行してください。プログラムを選択するには矢印キーを使って選択し、Enterキーで確認してください

CMOS設定ユーティリティ Main CMOS Setup

設定ユーティリティを起動すると、次のようなCMOS SETUP UTILITYのメインスクリーンが表示されます。画面の最下部にはこの画面で使用できるコントロールキーが表示されます。これらのキーとその使い方を覚えてください。コントロールキーセクションの下には、選択されている項目に関する情報が表示されます。

KA-6100ユーザーマニュアル

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LFI2D) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.	
STANDARD CMOS SETUP	INTEGRATED PERIPHERALS
BIOS FEATURES SETUP	SUPERVISOR PASSWORD
CHIPSET FEATURES SETUP	USER PASSWORD
POWER MANAGEMENT SETUP	IDE HDD AUTO DETECTION
PNP/PCI CONFIGURATION	HDD LOW LEVEL FORMAT
LOAD BIOS DEFAULTS	SAVE & EXIT SETUP
LOAD SETUP DEFAULTS	EXIT WITHOUT SAVING
Esc : Quit	- - : Select Item
F10 : Save & Exit Setup	(Shift)F2 : Change Color

標準設定実行 Load Defaults

「Load BIOS Defaults」は、必要最低限のシステムパフォーマンスを確立するために最適な各パラメーターの設定がなされています。「Load Setup Defaults」は、BIOSとチップセット機能を工場出荷時のデフォルト値に戻します。このレベルでデフォルト値を選択すると設定可能な項目が変わります。

基本設定 Standard COMS Setup

Standard CMOS Setupでは、システムハードウェアの基本的な設定を記録し、システムクロックとエラー発生時の処理方法を設定します。マザーボードがすでにシステムに装着されている場合は、この設定を行う必要はありません。ただし、マザーボード上のC M O S メモリに保存されている設定情報が消失したり、破損したり、ハードウェアの設定を変更した場合などは、値を設定し直す必要があります。通常オンボードのC M O S バッテリーのパワーが不足すると、設定値が失われたり、破損したりします。

上の画面には項目一覧が表示されます。画面の最下部にはこの画面で使用可能なコントロールキーが表示されます。これらのキーとその使い方を覚えてください。ユーザ定義が可能な項目は別な色で表示されます。F 1 キーを押すとヘルプメニューが表示され、選択した項目に関する情報を見ることができます。画面右下のメモリ表示は読み取り専用で、それぞれ自動的に修正されます。

BIOS設定

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LF12P) STANDARD CMOS SETUP AWARD SOFTWARE, INC.							
Date (mm:dd:yy) : Mon, Jul 20 1998 Time (hh:mm:ss) : 15 : 29 : 15							
HARD DISKS	TYPE	SIZE	CYLs	HEAD	PRECOMP	LANDZ	SECTOR MODE
Primary Master	: Auto	0	0	0	0	0	0 AUTO
Primary Slave	: Auto	0	0	0	0	0	0 AUTO
Secondary Master	: Auto	0	0	0	0	0	0 AUTO
Secondary Slave	: Auto	0	0	0	0	0	0 AUTO
Drive A : 1.44M, 3.5 in.				Base Memory: OK Extended Memory: OK Other Memory: 512K Total Memory: 512K			
Drive B : None							
Floppy 3 Mode Support : Disabled							
Video : EGA/VGA							
Halt On : All Errors							
ESC : Quit		↑ ↓ ← → : Select Item		F1/F2/F3/F4 : Modify			
F1 : Help		(Shift)F2 : Change Color					

Date

日にちを設定するには、Dateを選択してpage up/page downキーまたは+/-キーを使います。月、日、年の形式で入力してください。それぞれ有効な値は、月：（1から12）、日：（1から31）、年：（2079まで）です。

Time

時間を設定するには、Timeを選択してpage up/page downキーまたは+/-キーを使います。時、分、秒の形式で入力してください。それぞれ有効な値は、時：（00から23）、分：（00から59）、秒：（00から59）です。現在の時間を変更したくないときは、Enterキーを2回押してください。

Hard Disks

システムに装着されている非SCSIハードディスクドライブの情報を記録します。オンボードのPCI IDEコネクタでは4つのIDEハードディスクか他のIDEデバイスに接続するためのプライマリチャネルとセカンダリチャネルしか使用できません。各チャネルはそれぞれ2つのハードディスクをサポートすることができ、それぞれ最初のハードディスクが“マスター”で2番めのハードディスクが“スレーブ”となります。

SCSIハードディスクはデバイスドライバを使って操作され、BIOSではサポートされていないので、その情報を入力する必要はありません。Specifications for SCSI hard disks need not be entered here SCSIコントローラカードを装着してある場合は、その説明書をお読みになり必要なSCSIドライバをインストールしてください。

KA-6100ユーザーマニュアル

IDEハードディスクドライブの設定では次のような選択をすることができます。

- 「A u t o 」を選択してブート中に自動検出させる
- メインメニューで「IDE HDD AUTO DETECTION」を選択してドライブの情報を自動的に入力させる
- 「User」を選択して手動で入力する

ハードディスクタイプについてのエントリには、C Y L S（シリンダの数）、HEAD（読み出し / 書き込みヘッドの数）、PRECOMP（書き込むタイミングを変更するときのシリンダー数）、L A N D Z（ヘッドが待避するシリンダー数）、SECTOR（セクタの数）、MODEなどがあります。SIZEはあなたが行った他の設定によって自動的に調整されます。H D D の仕様については、ハードディスクの説明書に記載されているはずです。

MODEはIDEハードディスク専用のエントリですので、MFMやESDIなどでは省略してください。このエントリにはNormal、Large、LBA、Autoの4つの選択肢があります。528MB以下のIDE HDDは「Normal」に、LBA（Logical Block Addressing）に対応した528MB以上のハードディスクは「LBA」に、528MB以上でLBAをサポートしないハードディスクは「Large」に設定してください。L a r g e タイプのドライブはM S - D O S でしか使用できません。528MB以上のほとんどのIDEドライブはLBAに対応しています。

ブート時のハードディスクの自動検出 Auto Detection of Hard Disks on Bootup

Primary Master, Primary Slave, Secondary Master, Secondary SlaveのTYPEとMODE項目を「Auto」に設定すると、ブート時にIDEドライブが自動検出されますので、ハードディスクを変えた後（電源をO f f にして）、そのタイプを再設定する必要がありません。この機能に対応していない古いタイプのハードディスクを使用するときは、これまで通りの方法で設定してください。

注意：IDEハードディスクの情報がBIOSに入力されたら、新しいIDEハードディスクはデータの読み取り / 書き込みができるようにパーティションを作成し、フォーマットする必要があります（FDISK.EXEやDOSベースのユーティリティなどを使います）。プライマリIDEハードディスクドライブはアクティブにするパーティションセットがあるはずです（FDISKを使って作成することもできます）。

BIOS設定

Drive A / Drive B

システムに装着されているF D D のタイプを記録します。特定のドライブを設定するには、項目を選択して矢印キーを使ってドライブのタイプを選択してください。設定：None (Drive Bのデフォルト); 360KB, 5.25 in.; 1.2MB, 5.25 in.; 720KB, 3.5 in.; 1.44MB, 3.5 in. (Drive Aのデフォルト); 2.88MB, 3.5 in.

Floppy 3 Mode Support

これは日本の標準F D D です。標準では3.5 インチのディスクに1.2 MB のデータを保存することができます。この項目は通常無効に設定されています。設定：Disabled (デフォルト) ; Drive A ; Drive B ; Both

Video

ビデオディスプレイカードのタイプを設定します。V G A またはそれ以上の解像度のカードを使用する場合は、「E G A / V G A」に設定してください。設定：EGA/VGA (デフォルト) ; Mono (HerculesまたはMDAの場合) ; CGA 40 ; CGA 80

Halt On

システムを停止させるエラーのタイプを選択します。設定：All Errors (デフォルト) ; No Errors; All, But Keyboard; All, But Diskette; All, But Disk/Key

ソフトウェアのターボ速度 Software Turbo Speed

Software Turbo Speed機能で、DOSゲームのスピードを調整することができます。フロントパネルのTurbo Speed Buttonを押さずに「Alt」、「Ctrl」、「+」の3つのキーを同時に押すと、Turbo Speed機能を有効にし、「Alt」、「Ctrl」、「-」の3つのキーを同時に押すと、この機能は解除されます。

機能設定 BIOS Features Setup

BIOS Features Setupではシステムの性能を向上させたり、必要に応じてシステムの機能を設定したりすることができます。マザーボードの設計上の理由により、いくつかの項目はデフォルト値のままにしておく必要があります。

画面の右下部にはこの画面で利用できるコントロールキーが表示されています。これらのキーとその使い方を覚えてください。F 1 キーを押すとヘルプメニューが表示され、選択した項目に関する情報を見ることができます。F 5 キーを押すと前の値に設定され、F 6 キーとF 7 キーを押すとそれぞれBIOS標準値とSetup標準値に設定されます。

KA-6100ユーザーマニュアル

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LF12P) BIOS FEATURES SETUP AWARD SOFTWARE, INC.			
Virus Warning	: Disabled	Video BIOS Shadow	: Enabled
CPU Internal Cache	: Enabled	C0000-C0FFF Shadow	: Disabled
External Cache	: Enabled	C0000-CFFFF Shadow	: Disabled
CPU L2 Cache ECC Checking	: Enabled	D0000-D3FFF Shadow	: Disabled
Quick Power On Self Test	: Enabled	D4000-D7FFF Shadow	: Disabled
Boot Sequence	: A,C,SCSI	D8000-DEFFF Shadow	: Disabled
Swap Floppy Drive	: Disabled	DC000-DEFFF Shadow	: Disabled
Boot Up Floppy Seek	: Enabled		
Boot Up NumLock Status	: On		
Boot Up System Speed	: High		
Cate A20 Option	: Fast		
Memory Parity/ECC Check	: Enabled		
TypeMatic Rate Setting	: Disabled		
TypeMatic Rate (Chars/Sec)	: 6		
TypeMatic Delay (Msec)	: 250		
Security Option	: Setup	ESC : Quit	F1-← : Select Item
IDE Second Channel Control	: Enabled	F1 : Help	FU/PD/+/- : Modify
PCI/VGA Palette Snoop	: Disabled	F5 : Old Values	{Shift}F5 : Color
OS Select For DRAM > 64MB	: Non-OS2	F6 : Load BIOS Defaults	
Report No FDD For WIN 95	: No	F7 : Load Setup Defaults	

Virus Warning

ハードディスクのブートセクタとパーティションテーブルをウイルスから保護します。これらに書き込みが行われようすると、システムが停止して警告メッセージを表示します。ウイルスが検出された場合は、操作を続けるか、ウイルスが侵入していない起動ディスクを使ってシステムをリブートしてください。新しく OS をインストールするときは、書き込みエラーを発生させないようにこの機能を無効にしておいてください。設定：Disabled (デフォルト) ; Enabled

CPU Internal Cache / External Cache

これらは CPU の内部キャッシュと外部キャッシュをオン/オフにします。設定：Enabled (デフォルト) ; Disabled

CPU L2 Cache ECC Checking

CPU のレベル2キャッシュをチェックして、エラーが発生するとそれを修正します。設定：Enabled (デフォルト) ; Disabled

Quick Power On Self Test

有効設定 (Enabled) で、BIOS の拡張メモリテストを省略します。設定：Enabled (デフォルト) ; Disabled

Boot Sequence (LS120/ZIP100)

選択した順序でディスクドライブのオペレーティングシステムを優先的に起動することができます。設定：A, C, SCSI (デフォルト); LS/ZIP, C; C, only; SCSI, C, A; SCSI, A, C; F, A, SCSI; E, A, SCSI; D, A, SCSI; CDROM, C, A; C, CDROM, A; C, A, SCSI

BIOS設定

Swap Floppy Drive

ブート時にオペレーティングシステムを起動するディスクドライブの順序を入れ替えます。設定：Enabled；Disabled（デフォルト）

Boot Up Floppy Seek

有効設定（Enabled）で、長めのシークコマンドを利用してBIOSがフロッピーディスクドライブのテストを実行します。設定：Enabled（デフォルト）；Disabled

Boot Up NumLock Status

有効設定（On）で、システム起動時に自動的にNum Lock機能が有効になります。設定：On（デフォルト）；Off

Boot Up System Speed

システム起動時に速くブートさせたいときは「High」に設定します。設定：High（デフォルト）；Low

Gate A20 Option

Protectedモードのときレスポンスを速くさせたいときは「Fast」に設定します。設定：Fast（デフォルト）；Normal

Memory Parity/ECC Check

ECCまたはパリティDRAMを検出したとき、自動的にメモリチェックを実行させます。設定：Enabled（デフォルト）；Disabled

Typematic Rate Setting

有効設定（Enabled）で、次の2つのタイプマティックに関する設定を行うことができます。設定：Disabled（デフォルト）；Enabled

Typematic Rate (Chars/Sec)

キーを押し続けたときに入力される文字のリピートスピードを変更します。設定：6（デフォルト）；8；10；12；15；20；24；30

Typematic Delay (Msec)

次の文字が表示されるまでの時間を設定します。設定：250（デフォルト）；500；750；1000（ミリ秒）

Security Option

システムのセキュリティーレベルの設定をします。「Setup」設定ではパスワードなしでシステムがブートし、設定ユーティリティが呼び出されたときのみSupervisorパスワードを入力する必要があります。「System」ではブート時に毎回Userパスワードを入力する必要があります。パスワードの指定はメインスクリーンで指定してください。設定：Setup（デフォルト）；System

KA-6100ユーザーマニュアル

IDE Second Channel Control

VIA Apollo PROチップセットには2つのIDEチャンネルに対応したPCI IDEインターフェイスが含まれています。有効設定 (Enabled) で、セカンダリオンチップIDEインターフェイスを有効にします。セカンダリ拡張IDEインターフェイスを搭載している場合は、「Disabled」に設定してこの機能を無効にしてください。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

PCI/VGA Palette Snoop

VGA Palette Snoop機能を必要とするISAアダプタカードが装着されている場合は、「Enabled」に設定してください。設定: Disabled (デフォルト); Enabled

OS Select For DRAM > 64MB

64MB以上のDRAMが搭載されているとき、使用するオペレーティングシステムを指定できます。OSがOS/2の場合は、「OS2」を選択してください。それ以外は、デフォルトの「Non-OS2」に設定してください。設定: Non-OS2 (デフォルト); OS2

Report No FDD For WIN 95

Standard CMOS Setup画面のDrive Aおよび/またはDrive Bが「None」に設定されているときは、この項目を「Yes」に設定してください。それ以外の場合は、「No」に設定してください。Drive Aおよび/またはDrive Bが「None」に設定してある場合でも、システムはフロッピーディスクドライブを検出し、認識します。設定: Yes (デフォルト); No

Video BIOS Shadow

有効設定 (Enabled) で、拡張ビデオカードのVideo ROMコードをシステムメモリにコピーし、処理速度を向上させることができます。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

C8000-CBFFF to DC000-DFFFF Shadow

有効設定 (Enabled) で、拡張カードのBIOS ROMコードをシステムメモリにコピーし、処理速度を向上させることができます。ROMを搭載した別な拡張カードが装着されている場合は、シャドウ化するためにROMがどのメモリアドレスを使用するかを知る必要があります。ROMをシャドウ化すると、640KBから1024KBの範囲の使用可能なメモリ領域が少なくなります。設定: Disabled (デフォルト); Enabled

BIOS設定

ハードウェア設定 Chipset Features Setup

Chipset Features Setupではシステムのチップセットの設定を行います。この画面のコントロールキーは前の画面と同じです。

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LF129) CMOS SETUP UTILITY CHIPSET FEATURES SETUP			
Bank 0/1 DRAM Timing	: FP/EDO 70ns	OnChip USB	: Disabled
Bank 2/3 DRAM Timing	: FP/EDO 70ns		
Bank 4/5 DRAM Timing	: FP/EDO 70ns		
SDRAM Cycle Length	: 3	Auto Detect DIMM/PCI Clk	: Enabled
Memory Hole At 16Mb Addr.	: Disabled	Spread Spectrum	: Disabled
Read Around write	: Disabled	Current System Temp.	:
Concurrent PCI/Host	: Disabled	Current CPU FAN1 Speed	:
Video RAM Cacheable	: Disabled	Current CPU FAN2 Speed	:
AGP Aperture Size	: 64M	IN0(V) :	IN1(V) :
		IN2(V) :	IN3(V) :
		IN4(V) :	IN5(V) :-
		IN6(V) :-	
ESC : Quit F1-- : Select Item			
F1 : Help F9/FD +/- : Modify			
F5 : Old Values (Shift) F2 : Color			
F6 : Load BIOS Defaults			
F7 : Load Setup Defaults			

Bank 0/1, 2/3, 4/5 DRAM Timing

DRAMの読み出し/書き込み(read/write)スピードを選択できます。設定: FP/EDO 70ns (デフォルト); FP/EDO 60ns; Fast; Normal; Turbo

SDRAM Cycle Length

SDRAM DIMMを使用しているときにのみBIOSの自動検出機能により、この項目が表示されます。使用中のSDRAM DIMMのCAS latencyが2の場合は「2」に設定して、システムパフォーマンスを向上させてください。3の場合は、デフォルト設定の「3」のままにしてください。設定: 2, 3 (デフォルト)

Memory Hole at 16M Addr.

有効設定(Enabled)で、15MBから16MBまでのメモリ領域を必要とする拡張カード用にこのエリアを確保してシステムが使用できないようにします。拡張カードは16MB以上のメモリエリアにしかアクセスできません。設定: Disabled (デフォルト), Enabled

Read Around Write

この機能は、有効(Enabled)にしておくとデータの読み込みに関するパフォーマンスを高速にします。設定: Enabled, Disabled (デフォルト)

KA-6100ユーザーマニュアル

Concurrent PCI/Host

各バスマスターサイクルが同じバスを使用しない場合は、複数のバスマスターサイクルを同時に有効にします。設定：Disabled (デフォルト); Enabled

Video RAM Cacheable

ビデオRAM をキャッシュさせてパフォーマンスを向上させます。設定：Disabled (デフォルト); Enabled

AGP Aperture Size (MB)

オンボードAGP カードで使用されるメインメモリのフレームサイズを設定します。設定：64 (デフォルト); 128M; 256M; 4M; 8M; 16M; 32M

OnChip USB

有効設定 (Enabled) で、オンボードのUSB 機能を使用できます。設定：Disabled (デフォルト); Enabled

USB Keyboard Support

この項目は「OnChip USB」を「Enabled」に設定してある場合にのみ有効になります。有効設定 (Enabled) で、USBキーボードを使用できます。設定：Disabled (デフォルト); Enabled

Auto Detect DIMM/PCI Clk

有効設定 (Enabled) で、DIMMクロックスピードを自動検出します。設定：Enabled (デフォルト); Disabled

Spread Spectrum

Spread SpectrumをCenter SpreadタイプかDown Spreadタイプに設定します。設定：Disabled (デフォルト); Enabled

Current System Temp. / Current CPUFAN1 Speed / Current CPUFAN2 Speed / IN0(V): to IN6(V):

これらの項目を使ってこのマザーボードのBIO S によって提供されるデータを監視することができます。この項目はユーザ設定することはできません。

省電力機能設定 Power Management Setup

Power Management Setupではシステムの電力消費量を縮小するための設定を行います。この機能はシステムがアイドル状態に入った後、一定時間が経過したら、ビデオディスプレイをOff にしてHDD をシャットダウンさせます。

BIOS設定

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LFI2P) POWER MANAGEMENT SETUP AWARD SOFTWARE, INC.	
Power Management : User Define	Primary INITR : ON
PM Control by APM : Yes	IRQ3 (COM 2) : Primary
Video Off Option : Suspend -> Off	IRQ4 (COM 1) : Primary
Video Off Method : V/H SYNC+Blank	IRQ5 (LPT 2) : Primary
MODEM Use IRQ : 3	IRQ6 (Floppy Disk) : Primary
Soft-Off by PMBSTN : Delay 4 Sec	IRQ7 (LPT 1) : Primary
	IRQ8 (RTC Alarm) : Disabled
HDD Power Down : Disable	IRQ9 (IRQ2 Redir) : Secondary
Doze Mode : Disable	IRQ10 (Reserved) : Secondary
Suspend Mode : Disable	IRQ11 (Reserved) : Secondary
VGA : OFF	IRQ12 (PS/2 Mouse) : Primary
LPT & COM : LPT/COM	IRQ13 (Coprocessor) : Primary
HDD & FDD : ON	IRQ14 (Hard Disk) : Primary
DMA/master : OFF	IRQ15 (Reserved) : Disabled
Modem Ring Resume : Disabled	ESC : Quit F1 : Select Item
RTC Alarm Resume : Disabled	F1 : Help F2/PD/+/~ : Modify
	F5 : Old Values (Shift)F2 : Color
	F6 : Load BIOS Defaults
	F7 : Load Setup Defaults

Power Management

省電力機能の調整ができます。「Disabled」設定で省電力機能の設定を無効にします。「User Defined」設定で省電力機能を手動で設定できます。

「MAX Saving」は一定時間システムがアイドル状態になると省電力モードに移行させます。「MIN Saving」は「MAX Saving」とほぼ同じですが、システムが省電力モードに入るまでの時間が長くなります。設定: Disabled; User Defined(デフォルト); Min Saving; Max Saving

PM Control by APM

APM (Advanced Power Management) 機能を利用しない場合は、「No」を選択してください。「Yes」の設定で、Doze、Standby、Suspendに移行する前に、A P M 機能実行まで待機したままの状態になります。A P M 機能に対応している場合は、すべてのタスクが終了した後にシステムが省電力モードに移行するよう管理します。設定: Yes (デフォルト); No

Video Off Option

ディスプレイの省電力モードへの移行方法を設定します。設定: Suspend -> Off (デフォルト); Always On; All Modes -> Off

Video Off Method

モニタをオフにするモードを設定します。「V/H SYNC+Blank」では、ビデオカードから発信される水平(H-Sync)、垂直(V-Sync)同期信号を落としてディスプレイ表示をブランクにします。「DPMS」では、DPMS規格のビデオカード自身が制御してディスプレイ表示をブランクにします。「Blank Screen」では、表示信号を落としてディスプレイ表示をブランクにします。Green機能に対応していないディスプレイモニタに対しては後者を選択してください。スクリーンセーバーとこの機能を同時に使用することはできません。設定: V/H Sync + Blank (デフォルト); Blank Screen; DPMS

KA-6100ユーザーマニュアル

MODEM Use IRQ

モデムの指定するIRQ番号に合わせて、利用できるIRQを変更できます。設定：3（デフォルト）；NA；4；5；7；9；10；11

Soft-Off By PWR-BTTN

この項目はATX電源を使用するシステムケース用で使います。「Delay 4 Sec.」設定では電源ボタンを押して4秒後にシステムをシャットダウンします。「Instant-Off」の設定では、電源ボタンを押したら直ちにシステムをシャットダウンします。設定：Delay 4 Sec.（デフォルト）；Instant Off

HDD Power Down

一定期間システムが利用されていないと判断されたときIDE ハードディスクドライブをオフにします。「Max Saving」設定で1分後にDoze/Standby/Suspendモードに移行します。「Min Saving」設定で15分後にDoze/Standby/Suspendモードに移行します。「Power Management」が「User Defined」に設定されている場合は、1分から15分の間で設定してください。この機能はSCSI HDDには適用されません。設定：Disabled（デフォルト）；1 Min；... 15 Min

Doze Mode/Suspend Mode

Doze/Suspendモードに移行してからの時間を設定します。「Max Saving」設定でDoze/Suspendモードは10秒後に、「Min Saving」設定でDoze/Suspendモードは1時間後に有効になります。「Power Management」が「User Defined」に設定されている場合は、10 Sec；20 Sec；30 Sec；40 Sec；1 Min；2 Min；4 Min；6 Min；8 Min；10 Min；20 Min；30 Min；40 Min；1 Hourから選択してください。デフォルトは「Disabled」です。

VGA

「ON」設定で、VGA が利用されていないと判断されたとき省電力タイマーが稼働します。「OFF」設定でこの機能は無効になります。設定：OFF（デフォルト）；ON

LPT & COM

「LPT/COM」設定で、LPTとCOMポートが利用されていないと判断されたとき省電力タイマーが稼働します。「LPT（COM）」設定で、LPT（COM）ポートが利用されていないと判断されたとき、省電力タイマーが稼働します。「NONE」設定でこの機能は無効になります。設定：LPT/COM（デフォルト）；LPT；COM；NONE

HDD & FDD

有効設定（ON）で、HDDとFDDが作動していないとき、省電力タイマーが稼働します。「OFF」でこの機能は無効になります。設定：OFF，ON（デフォルト）

BIOS設定

DMA/master

「ON」設定で、LANカードかSCSIカードのバスマスターまたはDMAの省電力からの回復イベント機能を有効にします。設定：OFF（デフォルト）；ON

Modem Ring Resume

システムにA T X 電源が搭載されている場合、この機能を有効設定（Enabled）にすると、LANを介してリモートコンピュータからシステムを回復させることができます。設定：Disabled（デフォルト）；Enabled

RTC Alarm Resume

システムにA T X 電源が搭載されている場合、この機能を有効設定（Enabled）にすると、システムを電源オフ状態から回復させる時間を設定できます。設定：Disabled（デフォルト）；Enabled

Primary INTR

「ON」設定で次のIRQ #の項目を設定できます。設定：ON（デフォルト）；OFF

IRQ3 (COM 2), . . . , IRQ7 (LPT 1), IRQ12 (PS/2 Mouse), . . . , IRQ14 (Hard Disk)

省電力機能を有効にするIRQを個々に設定できます。設定：Primary（デフォルト）；Secondary；Disabled

IRQ8 (RTC Alarm), IRQ15 (予約済み)

省電力機能を有効にするI R Q を個々に設定できます。ソフトウェアのアラームクロックやイベントカレンダーによってシステムを電源オフの状態から回復させられるように、IRQ8 (Real Time Alarm)は通常「Disabled」に設定されています。設定：Disabled（デフォルト）；Primary；Secondary

IRQ9 (IRQ2 Redir), . . . , IRQ11 (予約済み)

IRQ9, IRQ10, IRQ14の省電力機能を有効にすることができます。設定：Secondary（デフォルト）；Primary；Disabled

プラグ&プレイ・PCI設定 PNP and PCI Setup

PNP and PCI SetupではPCIバススロットを設定します。システム上のすべてのPCIバススロットはINTA#を使用しますので、装着されているPCIカードはすべてこの値に設定しなければなりません。

KA-6100ユーザーマニュアル

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LFI2P) PnP/PCI CONFIGURATION AWARD SOFTWARE, INC.	
PnP OS Installed : Yes Resources Controlled By : Auto Reset Configuration Data : Disabled	CPU to PCI Write Buffer : Enabled PCI Dynamic Bursting : Enabled PCI Master 0 WS Write : Enabled PCI Delay Transaction : Enabled PCI#2 Access #1 Retry : Disabled AGP Master 1 WS Write : Enabled AGP Master 1 WS Read : Disabled PCI IRQ Activated By : Level Assign IRQ For USB : Disabled Assign IRQ For VGA : Enabled
ESC : Quit F1---- : Select Item F1 : Help F2/FD+/~ : Modify F5 : Old Values (Shift)F2 : Color F6 : Load BIOS Defaults F7 : Load Setup Defaults	

PnP OS Installed

Windows NTやWindows 95のようにOSがプラグ&プレイ機能に対応しているとき「Yes」に設定すると、OSが割り込みを割り当て直します。OSがプラグ&プレイに対応していない場合や、割り込み設定を0 Sに変更させたくないときは、「No」に設定してください。設定：No；Yes（デフォルト）

Resources Controlled By

BIOSで全てのシステムリソースを自動設定させるには「Auto」に設定します。競合するリソースが見つかった場合は、「Manual」に設定してください。設定：Auto（デフォルト）；Manual

Reset Configuration Data

有効設定（Enabled）で、現在のBIOS設定をクリアしデフォルト設定に戻します。設定：Disabled（デフォルト）；Enabled

CPU to PCI Write Buffer

有効設定（Enabled）で、システムコントローラの内部バッファへのデータとアドレスのアクセスが可能になり、CPUが待機状態から開放されます。設定：Enabled（デフォルト）、Disabled

PCI Dynamic Bursting

有効設定（Enabled）で、継続するPCIサイクルが同じ1KB空間のアドレスであれば、PCIコントローラーはPCI転送をバーストモードで実行し、PCIバスの処理能力を向上させます。設定：Enabled（デフォルト）、Disabled

BIOS設定

PCI Master 0 WS Write

有効設定(Enabled)で、PCI マスタードライブがDRAMにデータを書き込むとき、待機状態無しのサイクル(zero-wait state-cycle)を実行します。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

PCI Delay Transaction

この機能を有効(Enable)にすると、新しいPCI マスターの要求があると現在のP C I マスターサイクルを中止して受理し、その後で再受諾された先のP C I マスターにデータ転送します。設定: Disabled, Enabled (デフォルト)

PCI#2 Access #1 Retry

有効設定(Enabled)で、AGP (PCI#2) が設定した回数だけPCI (PCI#1) にアクセスします。設定: Disabled (デフォルト); Enabled

AGP Master 1 WS Write

有効設定(Enabled)で、AGP バスマスターがDRAMへデータを書き込むと待ち状態サイクルを1つ追加します。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

AGP Master 1 WS Read

有効設定(Enabled)で、AGP バスマスターがDRAMへデータを読み込むと待ち状態サイクルを1つ追加します。設定: Disabled (デフォルト); Enabled

PCI IRQ Activated By

I D E カードがエッジで有効になるときは、「Edge」に設定してください。設定: Level (デフォルト); Edge

Assign IRQ For USB

使用しているUSBがIRQを必要としないときは、「Disabled」に設定します。IRQが1つ開放され、他のリソースに割り当てられます。設定: Disabled (デフォルト); Enabled

Assign IRQ For VGA

使用しているPCI VGAカードがIRQを必要としないときは、「Disabled」に設定します。I R Q が1つ開放され、他のリソースに割り当てられます。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LFI20) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.	
STANDARD CMOS SETUP BIOS FEATURES SETUP CHIPSET FEATURES SETUP POWER MANAGEMENT SETUP PNP/PCI CONFIGURA LOAD BIOS DEFAULT LOAD SETUP DEFAULTS	INTEGRATED PERIPHERALS SUPERVISOR PASSWORD USER PASSWORD IDE HDD AUTO DETECTION FORMAT SETUP EXIT WITHOUT SAVING
Esc : Quit F10 : Save & Exit Setup	
: Select Item (Shift)F2 : Change Color	

Setupの標準設定実行 Load Setup Defaults

この項目を選択すると、システムが自動的にB I O S とチップセット機能を工場出荷時のデフォルト値の設定に戻します。これらの標準値を読み込むには、メインスクリーンで「Load Setup Defaults」を選択してEnterキーを押してください。画面に確認メッセージが表示されますのでY キーを押して、Enterキーで確認します。設定を中止するにはN キーを押してからEnterキーを押してください。この機能はStandard CMOS Setup画面の項目には影響しません。

デバイスの接続 Integrated Peripherals

OnChip IDE First Channel

OnChip IDE Second Channel

有効設定 (Enabled) で、オンボードのセカンダリPCI IDEを使用できるようにします。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

IDE Prefetch Mode

データをプライマリIDEデータポートにポストさせ、ここからプリフェッチさせます。データポートから読み込みが開始されるとデータのプリフェッチも開始されます。この機能によりIDEデータポートへの遅延を解消し、最高のPIOデータ転送レートでデータを転送します。セクター最初のデータポート読み取りを「デマンドリード」と呼びます。以降のデータポート読み取りを「プリフェッチリード」と呼びます。デマンドリードとすべてのプリフェッチリードは同じサイズ(16ビットか32ビット)でなければなりません。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

IDE HDD Block Mode

有効設定(Enabled)でシステムがブロックモードのハードディスクに読み出し/書き込み要求を実行します。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

IDE Primary Master PIO(「OnChip IDE First Channel」が有効のときのみ設定可能)

PCIのプライマリIDEハードディスク(マスター)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。設定: Auto (デフォルト); Mode 0; Mode 1; Mode 2; Mode 3; Mode 4

IDE Primary SlavePIO(「OnChip IDE First Channel」が有効のときのみ設定可能)

PCIのプライマリIDEハードディスク(スレーブ)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。設定: Auto (デフォルト); Mode 0; Mode 1; Mode 2; Mode 3; Mode 4

IDE Secondary Master PIO(「OnChip IDE Second Channel」が有効のときのみ設定可能)

PCIのセカンダリIDEハードディスク(マスター)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。設定: Auto (デフォルト); Mode 0; Mode 1; Mode 2; Mode 3; Mode 4

IDE Secondary Slave PIO(「OnChip IDE Second Channel」が有効のときのみ設定可能)

PCIのセカンダリIDEハードディスク(スレーブ)モードの自動またはマニュアル設定を選択します。設定: Auto (デフォルト); Mode 0; Mode 1; Mode 2; Mode 3; Mode 4

IDE Primary Master UDMA(「OnChip IDE First Channel」が有効のときのみ設定可能)

マザーボードとHDDがUltra DMAに対応しているとき、PCIプライマリIDE HDD(マスター)モードを自動設定できます。設定: Auto (デフォルト); Disabled

BIOS設定

IDE Primary Slave UDMA (「OnChip IDE First Channel」が有効のときのみ設定可能)

マザーボードとHDDがUDMAに対応しているとき、PCIプライマリーIDE HDDモードを自動設定できます。設定：Auto (デフォルト); Disabled

IDE Secondary Master UDMA (「OnChip IDE Second Channel」が有効のときのみ設定可能)

マザーボードとHDDがUDMAに対応しているとき、PCIセカンダリIDE HDDモードを自動設定できます。設定：Auto (デフォルト); Disabled

IDE Secondary Slave UDMA (「OnChip IDE Second Channel」が有効のときのみ設定可能)

マザーボードとHDDがUDMAに対応しているとき、PCIセカンダリIDE HDDモードを自動設定できます。設定：Auto (デフォルト); Disabled

InitDisplayFirst

AGP VGAカードとPCI VGAカードの両方が装着されているときどちらを優先的に使用するかを選択します。設定：PCI Slot (デフォルト); AGP

Onboard FDD Controller

有効設定(Enabled)で、FDDコントローラがアクティブになります。設定：Enabled (デフォルト), Disabled

Onboard Serial Port 1

シリアルポート1がオンボードI/Oコントローラを使用していれば、シリアルポートのパラメーターを調整できます。I/Oカードを装着する必要がある場合は、COM3とCOM4が必要になる場合があります。設定：Auto (デフォルト); 3F8/IRQ4; 3E8/IRQ4; 2F8/IRQ3; 2E8/IRQ3; Disabled

Onboard Serial Port 2

シリアルポート2がオンボードI/Oコントローラを使用していれば、シリアルポートのパラメーターを調整できます。I/Oカードを装着する必要がある場合は、COM3とCOM4が必要になる場合があります。設定：Auto (デフォルト); 2F8/IRQ3; 3E8/IRQ4; 2E8/IRQ3; 3F8/IRQ4; Disabled

UART 2 Mode (「Onboard Serial Port 2」が無効になっていないときのみ設定可能)

シリアルポート2がIRポートとして使用されている場合、IRモードの設定が可能です。COM2をIRとしてでなくシリアルポートとして利用する場合は、「Standard」に設定します。設定：Standard (デフォルト); IrDA 1.0; ASK IR; MIR 0.57M; MIR 1.15M; FIR

IR Function Duplex (「UART 2 Mode」が「Standard」に設定されていないときのみ設定可能)

赤外線機能のデータ転送方法を選択します。設定: Half (デフォルト), Full

RxD, TxD Active

アクティブ信号の受信と送信の設定が可能です。但しこの分野に詳しい技術者以外は変更しないことを推奨します。設定: Hi, Hi (デフォルト); Hi, Lo; Lo, Hi; Lo, Lo

Onboard Parallel Port

パラレルポートがオンボードのI / O コントローラーを利用している場合、既定値からのパラメーター値の選択が可能です。設定: 378/IRQ7 (デフォルト); 278/IRQ5; 3BC/IRQ7; Disabled

Parallel Port Mode (「Onboard Parallel Port」が「Disabled」に設定していないときのみ設定可能)

高性能プリンタを接続できます。設定: Normal (デフォルト); EPP1.7; SPP; EPP1.9; ECP

ECP Mode Use DMA (「Parallel Port Mode」が「ECP」に設定してあるときのみ設定可能)

Direct Memory Access(DMA) チャンネルを選択できます。設定: 3 (デフォルト); 1

Parallel Port EPP Type

EPPバージョンを設定できます。設定: EPP1.9 (デフォルト); EPP1.7

Onboard Audio Chip

アドオンオーディオカードを使用したいときに、オンボードのオーディオチップを無効にできます。設定: Enabled (デフォルト); Disabled

パスワードの設定

Supervisor Password and User Password

この画面ではシステムパスワードを設定します。Supervisor Passwordはシステムと設定ユーティリティを保護するためのパスワードで、User passwordはシステム専用のパスワードです。工場出荷時には、システムにはパスワードが何も設定されていません。パスワードを設定するには、パスワードのタイプを選択してEnterキーを押します。パスワードの入力を求められますので、アルファベット文字8文字以内でパスワードを入力して、Enterキーを押してください。パスワードを入力する際は、大文字、小文字の違いにも注意してください。確認要求が表示されたらもう一度同じパスワードを入力してEnterキーで確定してください。パスワードを設定したら自動的にメインスクリーンへ戻ります。パスワード機能を使用するには、BIOS Features SetupのSecurity Optionでパスワードの入力を要求するセキュリティレベルを指定してください。パスワードを無効にするには、パスワードの入力を要求されたときEnterキーを押してください。パスワードが無効となったことを知らせるメッセージが表示されます。

ハードディスクの自動検出

IDE HDD Auto Detection

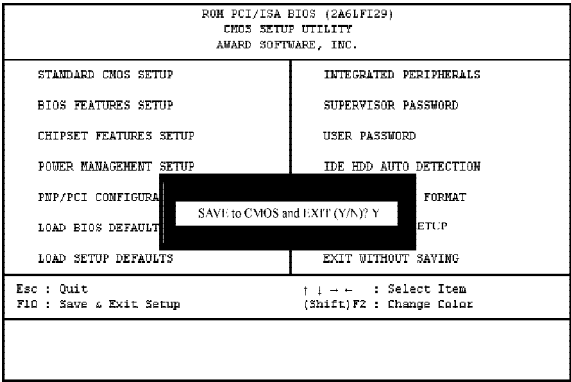
IDE HDD Auto DetectionはIDEハードディスクのパラメータを検出し、それを自動的にStandard CMOS Setupに入力します。ボックス内にリストされたパラメータによって、最高4つのIDEドライブが検出されます。最適値に設定するにはYキーを押し、設定を変えるときはOPTIONS項目に表示される値から選択してください。次のドライブに移行するにはNキーを押してください。入力値を確認すると、ドライブ文字の横にパラメータが表示されますので、次のドライブ文字を設定してください。Nキーを押すとパラメータセットを確認せずに、ドライブ文字の後に0が入力されます。4つのデバイスに対してエンハンスドIDEをサポートしていないIDEコントローラを使用する場合は、IDE HDDは2つしか装着できません。ドライブEとドライブFを使用するためには、IDEコントローラがエンハンスドIDE機能に対応していなければなりません。自動検出が終了したら、確認されたエントリがすべてStandard CMOS Setup画面に自動的に入力されます。省略したエントリは入力されません。LBAモードに対応したハードディスクを自動検出するときは、パラメータボックスに3つのラインが表示されます。LBAドライブにはLBAをリストしたラインを選択し、LargeとNormalは選択しないでください。自動検出機能は特定のIDEハードディスクに対して1つのパラメータセットしか検出できません。いくつかのIDEドライブは複数のセットを使用することができますが、ドライブが新しく、データが何も保存されていない場合は問題ありません。

注意：ハードディスクがすでに以前のシステムでフォーマットされているときは、間違ったパラメータが検出される場合があります。この場合は手動で正しいパラメータを入力するか、ハードディスク上のデータが必要でなければ低レベルでフォーマットしてください。データはシステムにより異なりますので、上に表示されるデータとあなたのシステムのデータは異なる場合があります。

表示されたパラメータとドライブをフォーマットしたときのパラメータが異なる場合は、ドライブは読み取り不可能となります。自動検出されたパラメータとドライブが使用すべきパラメータが異なる場合は、N キーを押して表示された設定を拒否し、Standard CMOS Setup画面で正しい値を入力してください。

設定の保存終了 Save & Exit Setup

現在のセッションで行った設定をCMOSメモリに保存します。新しい設定を保存するには、メインメニューから「Save & Exit Setup」を選択してEnterキーを押してください。



設定の未保存と終了 Exit Without Saving

現在のセッションで行った設定を保存せずに設定ユーティリティを終了します。新しい設定を保存せずに終了するには、メインメニューから「Exit Without Saving」を選択してEnterキーを押してください。

BIOS設定

ROM PCI/ISA BIOS (2A6LFI29) CMOS SETUP UTILITY AWARD SOFTWARE, INC.	
STANDARD CMOS SETUP	INTEGRATED PERIPHERALS
BIOS FEATURES SETUP	SUPERVISOR PASSWORD
CHIPSET FEATURES SETUP	USER PASSWORD
POWER MANAGEMENT SETUP	IDE HDD AUTO DETECTION
PNP/PCI CONFIGURATION	FORMAT
LOAD BIOS DEFAULTS	Quit Without Saving (Y/N) ? Y
LOAD SETUP DEFAULTS	EXIT WITHOUT SAVING
Esc : Quit F10 : Save & Exit Setup	
↑ ↓ → ← : Select Item (Shift)F2 : Change Color	

- 余白 -